

加須市立北川辺中学校

音楽

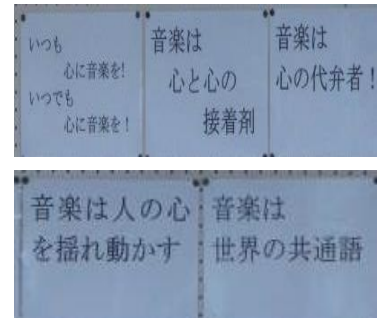
題材名「曲のイメージを聴く人に伝える
歌い方の工夫を考えて表現しよう」第3学年



心をほぐすウォーミングアップ



本時の課題を確認する



意欲を喚起させる
音楽室入口掲示

参会者アンケートから

研究会のあり方・全体的な感想

- 本校は音楽科教員が一人しかおらず、他の先生の授業を見る機会があまりないため、この研修会ではとても貴重な経験をさせていただきました。
- 他校の音楽室を拝見する機会も少ないので、音楽室運営について勉強になりました。
- 小学校勤務の私にとって、中学校の授業を見せていただけて、とても勉強になりました。小学校で学習したことがこのように中学校でつながるということがわかり、小中一貫教育の観点からも授業を考えることができました。
- 小学校の低学年から中学校まで、一つ一つの学びを一貫して丁寧に扱い積み上げていけば、音楽の授業は実り多いものになるのだと実感しました。
- 小谷先生の笑顔と豊かな表情が素敵で、魅力的なお人柄に引きつけられました。先生が体いっぱい音楽を感じている姿を見て、生徒は音楽の楽しさやよさを身近に感じられているのだと思いました。
- 生徒が生き生きと歌う姿が素晴らしいです。また、日頃の授業の流れ、ルール、先生と生徒との信頼関係がうかがえる授業でした。
- 本時の授業を見て、歌唱活動のねらいをしっかりとおさえて授業を行う大切さを感じました。「合唱コンクールのために授業をする」のではなく、日頃学習した成果を発表する場が合唱コンクールである、ということを確認しました。



混声四部合唱曲「川」の
音取りを中心としたパート練習





パート練習の課題
に対する指導



小グループでシェアタイム



グループの考えは
付箋に書いて全体で共有

- 「表現」を追求する授業の形として、勉強になりました。じっくり時間を取り、生徒と考えながら、楽曲の音楽表現をつくりあげていくことが大切だと感じました。
- 生徒の考えを引き出しながら、表現の工夫を考えていく授業として、とても参考になりました。
- 授業の流れがわかる板書、生徒の思いが載った拡大楽譜と、視覚からも訴える授業でした。
- 付箋を用い、生徒の意見を拡大楽譜に貼っていくというのは、生徒にとって主体的な学びとなっていて、とてもよい取組だと思いました。さっそく私も授業に取り入れて、生徒とともに曲想づくりをしていこうと思います。
- パートの音取りと曲想の工夫を同じ時間に扱う授業は初めて参観したので、とても新鮮でした。
- 前もって指導案を見せていただいていたので、目的意識をもって参加することができました。
- グループで協議がたくさんできたので、自分の授業の課題が見つかりました。
- 異校種（小・中）や若手ベテランの教員の混ざったグループだったため、協議が大変有意義でした。本授業についてだけでなく、日頃の合唱指導の行い方、留意点などが交流できました。



全体で歌い方を統一



実際に音で表現



グループ協議や発表

	授業分析表 加須市立北川辺中学校 音楽() 班
導入・序の曲	パート練習でグループでの話し合いができた。(表現の工夫、音程の確認など) ソングを中心に、ほかの練習はCDや、今使用できる教材を上手に活用している。
加藤先生の授業	CDだけでなく、キーボードを活用し、テンポを遅くしたり、音子は各部分とくり返し練習する。(流し歌うだけではない)修正作業
加藤先生の授業	CDラジカセとキーボードの両方上手に使用する。スピーカーの向きを工夫して、聴きやすくなる。(音量)
5分帯	

グループ協議でまとめた授業分析表